



1 令和6年度の主な取組状況等について

※ 主な取組実績の()の金額は、
令和6年度の決算額

【指標の評価方法】 A : 100%以上 B : 99~80%
C : 79~70% D : 69%以下

① 県民一人一人が文化の担い手

＜県民の文化活動の促進、芸術の鑑賞その他文化に接する機会の拡充、青少年の文化活動の促進＞（推進施策1、2、3）

主な取組実績

- 県芸術祭の開催（1,000千円）
 - ・ 富岡町で開幕式典・開幕行事を開催 入場者数 約800名
- アートマネジメント人材育成モデル事業（14,366千円）
 - ・ 研修会を4日間開催
 - ・ ワークショップを県内4市町村で14回開催
- 障がい者芸術作品展の開催等（13,145千円）
 - ・ 応募作品数 435点 来場者数 1,428名
 - ・ 前年度受賞作品の巡回展を県内3ヶ所で実施
- 福島県総合美術展覧会の開催（15,770千円）
 - ・ 公募出品数 598点 入場者数 6,747人
- 「メディア芸術」作品の展覧会開催（17,916千円）
 - ・ 応募作品数 187点 会津若松市と須賀川市で展覧会を開催

主な指標の達成状況

- 「文化活動やスポーツ活動に積極的に参加していると回答した県民の割合(鑑賞を含む)」
目標38.6% 実績33.9% ⇒評価B
- 「福島県芸術祭参加行事数」
目標120件 実績113件 ⇒評価B
- 「県立美術館の入館者数」
目標100,000人 実績100,968人 ⇒評価A
- 「青少年の県文学賞への応募数」
目標71点以上 実績56点 ⇒評価C
(高校生を対象にした講演会等の取組により前年度より応募者は増加。)

達成状況	指標の数	
A	3	27%
B	4	36%
C	2	18%
D	2	18%
-(対象外)	1	
計	12	

※ 指標の数/評価対象指標計
を表の右に記載している。

② 多様で特色ある地域資源・文化施設をいかす

＜伝統文化の継承及び発展、生活文化の充実、文化活動を行う拠点の機能の充実＞（推進施策4、5、6）

主な取組実績

- 「地域のたから」 民俗芸能総合支援事業（18,828千円）
 - ・ 本体公演 計19団体出演 来場者数 約3,400名
 - ・ 出張公演 計4団体出演 専門家との連携による団体支援
- 大学生と集落の協働による地域活性化事業（8,471千円）
 - ・ 大学生等の力を活用した集落活性化の取組の支援
当該事業を活用し、民俗芸能の披露・継承の取組を実施
- ふくしま'食の基本'推進事業（10,871千円）
 - ・ 子どもの食育に係る授業や研修会等に、のべ122人派遣
 - ・ 農林漁業体験支援事業として16事業の食育に関する体験を支援
- ふくしま海洋科学館(アアマリ)ふくしま管理運営（593,837千円）
 - ・ 「わくわく里山・縄文の里」リニューアル工事
- 文化観光拠点施設機能強化事業（県立博物館）（18,887千円）
 - ・ 外構展示、体験型プログラム、映像資料の多言語化、
まちなか連携、障がい者観覧支援、WEBサイトの一元化等

主な指標の達成状況

- 「ふるさとの祭り参加民俗芸能団体数」
目標248団体 実績247団体 ⇒評価B
- 「食育実践サポーター派遣事業実績(登録者数)」
目標244人 実績244人 ⇒評価A
- 「県立博物館の入館者数」
目標129,000人 実績113,516人 ⇒評価B
- 「県文化財センター白河館の入館者数」
目標30,000人 実績17,442人 ⇒評価D
(企画展の効果等により、入館者数は、近年、増加傾向にあり。)

達成状況	指標の数	
A	4	36%
B	4	36%
C	2	18%
D	1	9%
-(対象外)	1	
計	12	



③ 文化振興を地域の活性化にいかす

<文化の交流の推進、文化振興による地域づくり> (推進施策7、8)

主な取組実績

- 声楽アンサンブルコンテスト全国大会 (19,198千円)
 - ・ 133団体出演 入場者数 4,953名
- 東日本大震災・原子力災害伝承館管理運営事業 (432,772千円)
 - ・ 10,599点の資料を収集 一般研修参加人数 14,512名
- 「歳時記の郷・奥会津」活性化事業 (164,534千円)
 - ・ 只見川流域の振興に資するソフト事業1事業と各構成町村が行うハード事業4事業の計5事業を支援
- チャレンジふくしま県民運動推進事業 (29,931千円)
 - ・ ふくしまアートウォーキングモデルコース体験イベント 68名参加
スタンプラリー応募数 223件 県民運動イベント登録数 772件

主な指標の達成状況

- 「声楽アンサンブルコンテスト全国大会の推薦及び公募団体数」
目標232団体 実績237団体 ⇒評価 A
- 「東日本大震災・原子力災害伝承館の入館者数」
目標63,000人 実績86,551人 ⇒評価 A
- 「ホープツーリズム催行件数」
目標410件 実績438件 ⇒評価 A
- 「観光客入込数」 (推計値)
目標52,000千人 実績57,467千人 ⇒評価 A

達成状況	指標の数	
A	4	57%
B	2	29%
C	1	14%
D	0	0%
-(対象外)	1	
計	8	

2 令和7年度の主な取組について

<施策展開の視点>

<主な取組>

※ 冒頭に【新】表示がない事業は、継続事業
主な取組の () の金額は、令和7年度予算額

① 県民一人一人が文化の担い手

- 県芸術祭の開催 (1,000千円)
- 県立美術館の企画展・常設展開催 (81,472千円)
- 福島県総合美術展覧会の開催 (28,858千円)
- アートマネジメント人材育成モデル事業 (15,000千円)
- 障がい者芸術作品展の開催等 (13,158千円)
- デジタルアート作品の展覧会開催 (9,813千円)

② 多様で特色ある地域資源・文化施設をいかす

- 「地域のたから」民俗芸能総合支援事業 (20,340千円)
- ふくしま「食の基本」推進事業 (13,267千円)
- ふくしま海洋科学館(アクアマリふくしま)管理運営 (558,856千円)
- 【新】県政150周年記念事業 (22,254千円)
 - ・ 令和8年を実施期間とし、新たな時代の本県を創造する契機となる事業を行う。
- 大学生と集落の協働による地域活性化事業 (8,871千円)
- 文化観光拠点施設機能強化事業 (10,007千円)

③ 文化振興を地域の活性化にいかす

- 声楽アンサンブルコンテスト全国大会 (19,198千円)
- チャレンジふくしま県民運動推進事業 (30,204千円)
- 【新】ふくしまデスティネーションキャンペーン事業 (555,235千円)
 - ・ 福島県の魅力をアートという切り口で本県の魅力を再発見、魅力的なスポットを発掘し、全国に発信する。
- 【新】ふくしまアート新発見事業 (19,491千円)
 - ・ 県内にある美術館や博物館などを気軽に訪れ、直接アートに触れる機会を創出する。
- 東日本大震災・原子力災害伝承館管理運営事業 (426,300千円)
- 「歳時記の郷・奥会津」活性化事業 (200,187千円)